第４次長岡市環境基本計画　評価指標の達成状況一覧【31項目】

資料No.5

【達成状況】達成 ○、基準年度比：維持 □、向上 △、低下 ▼

	項目名	現状値 （基準年度）	年度実績 Ｒ３	目標値 （目標年度）	達成状況	該当頁
Ⅰ　低炭素・資源循環型のまち						
施策の方向１　地球温暖化対策の推進				関連するSDGsの目標		
1	長岡市域における温室効果ガス排出量	2,449,000ｔ-CO2 (H19年度)	2,212,000t-CO2 （令和元年度） ※国等の統計数値を用いて算出するため、最新値は令和元年度となる。	中期目標（R2年度） 1,800,000t-CO2 長期目標（R32年度） 383,000t-CO2	△	3
2	市役所（事務事業）における温室効果ガス排出量	79,826t-CO2 (H29年度)	65,452ｔ-CO2	77,032t-CO2 (R4年度)	○	
施策の方向２　ごみの減量と資源循環の推進				関連するSDGsの目標		
3	市全体のごみ排出量	88,400ｔ/年 (H28年度)	85,009t/年	79,300ｔ/年 (R9年度)	△	7
4	市民1人1日当たりのごみ排出量	884ｇ/人・日 (H28年度)	888g/人・日	867ｇ/人・日 (R9年度)	▼	
（▼理由）断捨離などにより、燃やさないごみと粗大ごみの排出量が増えており、1人1日当たりにするとごみ排出量が増加している。広報誌等による市民への啓発を行っていく。						
5	一般廃棄物におけるリサイクル率	24.7% (H28年度)	24.2%	27.5% (R9年度)	▼	
（▼理由）集団回収の減少により、資源物収集量が減っているため、リサイクル率が低下している。広報誌等による市民への啓発を行っていく。						
6	市のグリーン購入達成率	76% (H28年度)	65.9%	100% (R9年度)	▼	
（▼理由）毎年国が公表している「環境物品等の調達に関する基本方針」の全庁的な周知不足が原因と考えられる。今後は職員ポータルでの周知等さらなる発信と、現在は国が定める「調達基本方針」に準じて環境物品の調達を行っているが、来年度改定の地球温暖化対策実行計画をもとに市独自の調達方針の作成を検討する必要がある。						
Ⅱ　人と自然が共生するまち						
施策の方向３　自然環境の保全と活用				関連するSDGsの目標		
7	森林整備面積	32.6ha (H28年度)	31.54ha	増加させる (R9年度)	▼	13
（▼理由）①搬出間伐について、施業を予定していた３地区のうち１地区について、所有者の同意が得られず着手が困難になったこと②下刈について、植栽木の成長が良く、施業の必要性が無くなったため③森林作業道について、搬出間伐の事業量の減少に伴う、開設延長が減少したため 上記、３つの理由から森林整備面積が６．７７ｈａ、令和２年度と比較して減少した。 今後は、適切な森林整備を実施し、増加させる方向である。						
8	野外レクリエーション施設数	21か所 (H29年度)	23か所	23か所 (R9年度)	○	
9	ＧＡＰ（農業生産工程管理）の認証件数	個人認証：5農場 団体認証：2団体 （8農場） (H29年度)	個人認証：4農場 団体認証：1団体 （11農園）	個人認証：10農場 団体認証：2団体 （18農場） (R9年度)	△	
施策の方向４　生物多様性の保全・管理				関連するSDGsの目標		
10	トキ分散飼育センターでのトキの繁殖数	26羽 (H28年度までの累計)	49羽 （Ｒ３年度までの累計）	50羽 (R9年度までの累計)	△	19
11	サル情報メールの登録者数	45人 (H29年度)	68人	増加させる (R9年度)	○	
Ⅲ　環境汚染のない安全なまち						
施策の方向５　大気汚染・悪臭の防止				関連するSDGsの目標		
12	大気汚染物質の環境基準の達成状況	光化学オキシダントのみ非達成 (H28年度)	光化学オキシダントのみ非達成	すべての項目で達成 (R9年度)	□	22
13	大気汚染・悪臭に関する公害苦情処理件数	32件 (H28年度)	42件	減少させる (R9年度)	▼	
（▼理由）大気汚染・悪臭苦情の大部分を占める野焼きがいまだに絶えないため、苦情の減少に至っていない。引き続き、野焼き行為の禁止を広く啓発し、野焼き行為者に対してはごみの適正処分を促すことで、苦情の減少を図る。						
施策の方向６　水質汚濁の防止				関連するSDGsの目標		
14	汚水処理人口普及率	97.2% (H28年度)	98.3%	100% (R9年度)	△	29
15	河川における環境基準等達成率（ＢＯＤ）	93.3% (H28年度)	92.3%	100% (R9年度)	▼	
（▼理由）環境基準等の超過した地点の要因の一つとして、工場・事業場からのBODの高い排水による影響が考えられる。上流に立地する工場・事業場については、引き続き、適正に水質管理を行うよう指導していく。						

【達成状況】達成 ○、基準年度比：維持 □、向上 △、低下 ▼

	項目名	現状値 （基準年度）	年度実績 Ｒ３	目標値 （目標年度）	達成状況	該当頁
施策の方向７　土壌環境の保全				関連する SDGsの目標		
16	長岡高校地下水位観測井における地下水の最低水位（地表面下）	17m （H28年度）	24.40m	維持する （R9年度）	▼	32
（▼理由）令和３年度は、平成29年度・令和２年度並みの降雪量となり、消雪パイプの使用量が増加したため、地下水位が低下したものと考えられる。今後は、地下水利用者の節水行動につながる効果的な情報発信の方法や、地中熱の利用など地下水の使用を抑制できる消雪設備の可能性について、研究を進めていく。						32
施策の方向８　静けさの保持				関連する SDGsの目標		
17	一般環境騒音の環境基準超過地点数	2地点 （H28年度）	3地点	0地点 （R9年度）	▼	36
（▼理由）超過地点は、いずれも交通量の多い道路に近接して住宅地が立地しており、自動車の走行音の影響を受けやすい地域であると考えられる。現状では、超過地点付近の地域からの苦情は発生していないが、今後も騒音調査を通じて環境基準の達成状況を注視していく。						36
18	高速自動車道騒音の環境基準超過地点数	0地点 （H28年度）	0地点	0地点 （R9年度）	○	36
19	騒音に関する公害苦情処理件数	18件 （H28年度）	18件	減少させる （R9年度）	□	36
施策の方向９　化学物質による環境汚染の防止				関連する SDGsの目標		
20	魚類へい死等の環境汚染事案の発生件数	1件 （H28年度）	0件	0件 （R9年度）	○	41
21	ダイオキシン類の環境基準達成率（河川水）	100％ （H28年度）	100%	100％ （R9年度）	○	41
施策の方向10　廃棄物の適正処理				関連する SDGsの目標		
22	一般廃棄物の不法投棄に関する公害苦情処理件数	66件 （H28年度）	32件	30件 （R9年度）	△	43
23	市有施設におけるＰＣＢ廃棄物保管量	1203個 （H28年度）	472個	0個 （R9年度）	△	43
Ⅳ　心の豊かさが感じられる快適で魅力的なまち						
施策の方向11　快適で魅力的なまちの創造				関連する SDGsの目標		
24	都市計画区域内人口1人当たりの都市公園面積	24.3㎡/人 （H28年度）	27.1㎡/人 （令和２年度）	維持する （R9年度）	○	48
25	都市公園面積	585.21ha （H28年度）	【未確定】	維持する （R9年度）	○	48
施策の方向12　環境に配慮した土地利用と開発の推進				関連する SDGsの目標		
26	農地面積（国土利用計画）	185.90㎢ （H26年度）	181.40㎢	183.36㎢ （R7年度）	△	52
27	森林面積（国土利用計画）	437.60㎢ （H26年度）	【未確定】	437.75㎢ （R7年度）	△	52
Ⅴ　協働で良好な環境を未来につなぐ人づくり						
施策の方向13　人づくりの推進				関連する SDGsの目標		
28	学校での地球温暖化等に関する出前講座の実施回数	4回 （H28年度）	14回	増加させる （R9年度）	○	55
29	環境に関する出前講座の実施回数（市民・事業者向け）	25回 （H28年度）	4回	29回 （R9年度）	▼	55
（▼理由）新型コロナウイルスの影響で、出前講座の実施回数が激減した。						55
30	自然観察会等の実施回数	129回 （H28年度）	104回	維持する （R9年度）	▼	55
（▼理由）新型コロナウイルスの影響で、学校等からの依頼件数が減少したため。						55
施策の方向14　市民、事業者、ＮＰＯ等の参画と協働				関連する SDGsの目標		
31	官民協働で行う環境イベントの開催回数	2回 （H28年度）	2回	3回 （R9年度）	□	61